

箇所番号
503／210

(令和3年 8月12日～8月15日発生8月豪雨災害)
令和4年度 農業用施設災害復旧事業(R3繰越) 重光堰(2)地区 水路復旧工事
金抜き設計書

【当 初】

事業主体名 安曇野市

総括情報表

適用単価地区 実施設計単価表等の適用日	50 1 1 中信（2） 04.10.01		
	当 世 代		前 世 代
前払率（%） 消費税率（%） 工種 契約保証方法 施工地域区分 現場環境改善費	40 10 % 22 河川工事 01 金銭的保証 09 補正無し 01 率分計上有り		
	これらの諸経費等の条件については、原則変更協議の対象とはなりませんのでご理解願います。		

(工事費内訳書)

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊

頁0-0002

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊						
河川用水路工						
法覆護岸工						
作業土工						
掘削 土砂 障害なし オープンカット			式			0
盛土工	2,560	m 3				施工 第0-0002号表
			式			
路体（築堤）盛土 4.0m以上 10,000m3未満	2,640	m 3				0 施工 第0-0004号表
埋戻 まき出し 粘性土・礫質土 締固めあり コンパクト（Ⅰ）	42	m 3				0 施工 第0-0005号表
積込（ルーズ） 土砂 土量50,000m3未満	46	m 3				0 施工 第0-0006号表

(工事費内訳書)

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊

頁0-0003

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
締固工 築堤（盛土作業）・路体 ∴排対型						0
	1,090	m 3				施工 第0-0007号表
押え盛土投入（ルーズ） 土砂 土量50,000m3未満						0
	1,210	m 3				施工 第0-0009号表
石礫除去工 採礫～場内一時仮置き 砂質土∴乾燥						0
	1,210	m 3				施工 第0-0010号表
詰石工投入（ルーズ） 岩塊・玉石 土量50,000m3未満						0
	17	m 3				施工 第0-0012号表
不足土河川内採取						
			式			
掘削 土砂 障害なし オープンカット						0
	1,650	m 3				施工 第0-0002号表
不整地運搬 ∴180m以下						0
	1,650	m 3				施工 第0-0013号表
整形仕上げ工						
			式			
法面整形 切土部 現場制約なし						0
	1,050	m 2				施工 第0-0015号表

(工事費内訳書)

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊

頁0-0004

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
法面整形 盛土部 法面締固めなし	901	m 2			0 施工 第0-0016号表
基面整正	498	m 2			0 施工 第0-0017号表
水路復旧工					
水路かご工復旧		式			
フトン簀（材石利用）設置工 1200×500（スロープ式） スロープ式	394	m			0 科目 第0001号表
吸出し防止材 厚 1 0 mm 既設材石利用フトン簀	506	m2			0
ふとんかご（H=500） 設置 スロープ 式	1, 073	m			0 施工 第0-0018号表
止杭打込	210	本			0 施工 第0-0019号表
遮水シート敷設（ベントナイトシート） 厚6mm以上4kg/m2 3層構造（コントロールパッチ内部せん断補強型）	1, 824	m2			

(工事費内訳書)

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊

頁0-0005

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
根固工復旧						
			式			
消波根固めブロック横取り 5.5tを超え11.0t以下 ・・・ラフテレンクレーン(油圧伸縮ジブ型)25t吊	18		個			0 施工 第0-0020号表
消波根固めブロック横取り 2.5tを超え5.5t以下 ・・・ラフテレンクレーン(油圧伸縮ジブ型)25t吊	27		個			0 施工 第0-0021号表
消波根固めブロック据付け 5.5tを超え11.0t以下 陸上	18		個			0 施工 第0-0022号表
消波根固めブロック据付け 2.5tを超え5.5t以下 陸上	27		個			0 施工 第0-0023号表
構造物撤去工						
構造物取壊し工			式			
じゃかご 撤去 径60cm	831		m			0 施工 第0-0024号表
掘削 大型土のう移設 再利用 土砂 障害なし オープンカット	153		m ³			0 施工 第0-0025号表

(工事費内訳書)

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊

頁0-0006

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
土工用マット（シート類） 撤去 ブルーシート # 3 0 0 0						0
	297		m 2			施工 第0-0026号表
産業廃棄物処理工						
産業廃棄物運搬工						
			式			
＊産業廃棄物処分費＊						
輸送費（蛇籠鉄線） 片道計上 片道輸送距離 2 0 kmまで 製品長12m以内	3		t			0
						施工 第0-0027号表
混合廃プラ等運搬 標準 DID区間なし 15.5km以下 バックホウ	0.1		m 3			0
						施工 第0-0028号表
産業廃棄物処理工						
			式			
＊産業廃棄物処分費＊						
じゃ籠処理費 鉄くず 混合廃棄物	2,793		k g			

(工事費内訳書)

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊

頁0-0007

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
廃プラ処理費						
	46		k g			
仮設工						
任意仮設工						
	1		式			
＊ ＊ 直接工事費 ＊ ＊						
運搬費						
輸送費（敷鉄板） 往復計上 片道輸送距離 1 0 kmまで 製品長12m以内[冬季割増有]						0
	72		t			施工 第0-0032号表
＊ ＊ 現場環境改善費 ＊ ＊						
＊ ＊ 共通仮設 費率分 ＊ ＊						
＊ ＊ 共通仮設費計 ＊ ＊						

(工事費内訳書)

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊

頁0-0008

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
＊ ＊ 純工事費 ＊ ＊						
＊ 現場管理費 ＊						
＊ ＊ 工事原価 ＊ ＊						
＊ 一般管理費等 ＊						
(参考) 予定 価格に占める 法定福利費概 算額						
＊ ＊ 工事価格計 ＊ ＊						
＊ ＊ 消費税等 相当額計 ＊ ＊						
＊ ＊ 工事費計 ＊ ＊						

工 種 明 細 表

工種 第0001号表

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設道路工					
		式			
敷鉄板設置・撤去工 設置～賃料～撤去∴供用60日 ∴使用回数2回					0
	288	m ²			施工 第0-0029号表
敷鉄板設置・撤去工 設置～賃料～撤去∴供用60日 ∴使用回数1回					0
	272	m ²			施工 第0-0031号表
仮設搬入路 B = 4.0m					
	170	m			科目 第0003号表
*** 単位当り ***					
	1	式			

フトン簀（材石利用）設置工

科目内訳表

科目 第0001号表

頁0-0010

1200×500（スロープ式）		スロープ式		10		m	
施 工 名 称 な ど		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
	土木一般世話役						0
		0.27		人			
	特殊作業員						0
		0.29		人			
	普通作業員						0
		1.00		人			
	ふとんかご（パネルタイプ） GS－3 4．0×15×高50×幅120						0
		10.0		m			
	バックホウ（クローラ型）〔標準型〕 排ガス2次∴山積0．8m3						0
		1.60		時間			
	軽油						0
		26.0		L			
	特殊運転手						0
		0.26		人			
	*** 合 計 ***						
		10		m			
	*** 単位当り ***						
		1		m			

科目内訳表

頁0-0011

100

m[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0012

クローラクレーン運転経費
機械駆動式16t吊

施工 第0-0001号表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
クローラクレーン [機械駆動式ウインチ] ラチスジブ型: 16t吊	1.00	日			
軽油	28	L			
特殊運転手	1.00	人			
		日			
*** 単位当り ***	1	日			
クローラクレーン規格: 機械駆動式16t吊 供用日当り運転時間 (t) : 0 燃料計上 (時間 or 日) : 0			日当り運転時間 (T) : 0 算出単位: 日で計算 労務計上 (時間 or 日) : 0		
特殊施工単価使用区分: 特殊施工単価内で使用しない			豪雪割増: 豪雪割増 工種条件と同じ		

施 工 内 訳 表

頁0-0013

掘削
土砂 障害なし
機械構成比： 47.36% 労務構成比： 34.34% 材料構成比： 18.30% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m 3 当り

オープンカット

施工 第0-0002号表

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
バックホウ (クローラ型) [標準型] 超低騒音・排ガス3次 \therefore 山積0.8m ³	47.36%	供用日		バックホウ (クローラ型) [標準型] 超低騒音・排ガス3次		
特殊運転手	34.34%	人		運転手 (特殊)		
軽油	18.30%	L		軽油 1.2号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
土質：土砂 押土の有無：押土なし 施工数量：5,000m ³ 未満				施工方法：オープンカット 障害の有無：障害なし 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ		

施 工 内 訳 表

頁0-0014

整地

敷均し(ルース)

標準(10,000m3未満)

施工 第0-0003号表

1

m 3 当り

機械構成比： 25.57% 労務構成比： 50.73% 材料構成比： 23.70% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ〔クローラ型〕賃料 超低騒音・～2011年規制	25.57%	日		バックホウ〔クローラ型〕賃料		
特殊運転手	50.73%	人		運転手(特殊)		
軽油	23.70%	L		軽油 1. 2号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
作業区分：敷均し(ルース) 障害の有無：障害なし				施工数量：標準(10,000m3未満)		

施 工 内 訳 表

頁0-0015

路体（築堤）盛土

施工 第0-0004号表

4.0m以上 10,000m3未満 1 m 3 当り
機械構成比： 19.93% 労務構成比： 66.76% 材料構成比： 13.31% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
ブルドーザ〔湿地〕賃料	12.24%	日		ブルドーザ〔湿地〕賃料		
振動ローラ〔フラットシングルドラム〕賃料	7.69%	日		振動ローラ〔フラットシングルドラム〕賃料		
特殊運転手	45.32%	人		運転手（特殊）		
普通作業員	21.44%	人		普通作業員		
軽油	13.31%	L		軽油 1. 2号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		

施 工 内 訳 表

頁0-0016

路体（築堤）盛土

施工 第0-0004号表

4.0m以上 10,000m3未満 1 1 m 3 当り
機械構成比： 19.93% 労務構成比： 66.76% 材料構成比： 13.31% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
*** 単位当り ***						
施工幅員：4.0m以上 障害の有無：障害なし				施工数量：10,000m3未満		

施工内訳表

頁0-0017

埋戻 まき出し

粘性土・礫質土

締固めあり コンパクト (I)

施工 第0-0005号表

10

m 3

当り

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0018

積込（ルーズ）

土砂

土量50,000m3未満

施工 第0-0006号表

1 m3 当り

機械構成比： 42.99% 労務構成比： 39.35% 材料構成比： 17.66% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
バックホウ（クローラ型）〔標準型〕 排ガス2次：山積0.8m3	42.99%	供用日		バックホウ（クローラ型）〔標準型〕 排ガス2次		
特殊運転手	39.35%	人		運転手（特殊）		
軽油	17.66%	L		軽油 1.2号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
土質：土砂 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				作業内容：土量50,000m3未満		

施工内訳表

頁0-0019

締固工
築堤（盛土作業）・路体
∴排対型
施工 第0-0007号表
1 日
86
m 3
当り

[illegible]

施工 第0-0008号表

∴賃料長期割引有(30日以上)

1	目	当り
---	---	----

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0021

押え盛土投入（ルーズ）

施工 第0-0009号表

土砂

土量50,000m3未満

1

m 3 当り

機械構成比： 42.99%

労務構成比：

39.35%

材料構成比：

17.66%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
バックホウ（クローラ型）〔標準型〕 排ガス2次：山積0.8m3	42.99%	供用日		バックホウ（クローラ型）〔標準型〕 排ガス2次		
特殊運転手	39.35%	人		運転手（特殊）		
軽油	17.66%	L		軽油 1.2号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
土質：土砂 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				作業内容：土量50,000m3未満		

施工内訳表

頁0-0022

石礫除去工

採礫～場内一時仮置き

砂質土:乾燥

施工 第0-0010号表

1 時間

24.3

m 3	当り
-----	----

[illegible]

ストンローダ（機械損料）
各種

頁0-0023

1 時間 当り

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0024

詰石工投入（ルーズ）

施工 第0-0012号表

岩塊・玉石

土量50,000m3未満

1

m 3

当り

機械構成比： 42.99%

労務構成比：

39.35%

材料構成比：

17.66%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
バックホウ（クローラ型） [標準型] 排ガス2次∴山積0. 8 m 3	42.99%	供用日		バックホウ（クローラ型） [標準型] 排ガス2次		
特殊運転手	39.35%	人		運転手（特殊）		
軽油	17.66%	L		軽油 1. 2号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
土質：岩塊・玉石 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				作業内容：土量50,000m3未満		

施工内訳表

頁0-0025

不整地運搬

∴ 1 8 0 m以下

施工 第0-0013号表

182

m 3

当り

[illegible]

不整地運搬車（機械損料）

頁0-0026

1 供用日 当り

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0027

法面整形

切土部

現場制約なし

施工 第0-0015号表

1

m 2 当り

機械構成比： 10.73% 労務構成比： 79.58% 材料構成比： 9.69% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
バックホウ [クローラ型] 賃料 超低騒音・排ガス3次：山積0.8m3 (長期割引)	10.73%	日		バックホウ [クローラ型] 賃料		
普通作業員	38.21%	人		普通作業員		
特殊運転手	22.05%	人		運転手 (特殊)		
土木一般世話役	19.32%	人		土木一般世話役		
軽油	9.69%	L		軽油 1. 2号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		

施 工 内 訳 表

頁0-0028

法面整形

施工 第0-0015号表

切土部

現場制約なし

1

m 2 当り

機械構成比： 10.73% 労務構成比： 79.58% 材料構成比： 9.69% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
*** 単位当り ***						
整形箇所：切土部 土質：ㄟ質土、砂及び砂質土、粘性土 費用の内訳：全ての費用				現場制約の有無：現場制約なし 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ		

施 工 内 訳 表

頁0-0029

法面整形

施工 第0-0016号表

盛土部

法面締固めなし

1

m 2 当り

機械構成比： 13.67% 労務構成比： 73.98% 材料構成比： 12.35% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
バックホウ [クローラ型] 賃料 超低騒音・排ガス3次：山積0.8m3 (長期割引)	13.67%	日		バックホウ [クローラ型] 賃料		
普通作業員	32.92%	人		普通作業員		
特殊運転手	28.11%	人		運転手 (特殊)		
土木一般世話役	12.95%	人		土木一般世話役		
軽油	12.35%	L		軽油 1. 2号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		

施 工 内 訳 表

頁0-0030

施工 第0-0016号表

法面整形

盛土部

法面締固めなし

1

m 2 当り

機械構成比： 13.67% 労務構成比： 73.98% 材料構成比： 12.35% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
*** 単位当り ***						
整形箇所：盛土部 現場制約の有無：現場制約なし 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				法面締固めの有無：法面締固めなし 土質：ㄥ質土、砂及び砂質土、粘性土 費用の内訳：全ての費用		

施 工 内 訳 表

頁0-0031

基面整正

施工 第0-0017号表

1 m 2 当り

機械構成比： 0.00% 労務構成比： 100.00% 材料構成比： 0.00% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
普通作業員	100.00%	人		普通作業員		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						

施 工 内 訳 表

頁0-0032

ふとんかご (H=500)

設置

スロープ式

施工 第0-0018号表

1 m 当り

機械構成比： 5.93% 労務構成比： 32.46% 材料構成比： 61.61% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
バックホウ (クローラ型) [標準型] 排ガス2次:山積0.8m3	5.93%	供用日		バックホウ (クローラ型) [標準型] 排ガス2次		
普通作業員	16.72%	人		普通作業員		
特殊作業員	5.54%	人		特殊作業員		
土木一般世話役	5.33%	人		土木一般世話役		
特殊運転手	4.87%	人		運転手 (特殊)		
割栗石 (詰石用) 150~200mm	27.94%	m3		割栗石 150-200mm		

施 工 内 訳 表

頁0-0033

ふとんかご (H=500)

施工 第0-0018号表

設置

スロープ 式

1

m 当り

機械構成比： 5.93%

労務構成比： 32.46%

材料構成比： 61.61%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
ふとんかご (パネルタイプ) G S - 3 4 . 0 × 1 5 × 高 5 0 × 幅 1 2 0	26.02%	m		ふとんかご (パネルタイプ) G S - 3 4 . 0 × 1 3 × 高 5 0 × 幅 1 2 0		
軽油	2.28%	L		軽油 1 . 2 号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
作業区分：設置 ふとんかご規格：高さ50cm×幅120cm 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				ふとんかご種別：スロープ 式 線形・網目：線径4.0 網目15		

施 工 内 訳 表

止杭打込

施工 第0-0019号表

1

本 当り

機械構成比： 0.00% 労務構成比： 78.03% 材料構成比： 21.97% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
普通作業員	78.03%	人		普通作業員		
松杭丸太 (県産材) 長1.5m 末口9 c m	21.97%	本		杭丸太 (松) 長 1 . 5 m × 末 口 9 c m 皮付 先端加工		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						

施 工 内 訳 表

頁0-0035

消波根固めブロック横取り

施工 第0-0020号表

5.5tを超え11.0t以下

ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊

1

個 当り

機械構成比： 36.88%

労務構成比：

63.12%

材料構成比：

0.00%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ〕賃料 排ガス1次∴25t吊(長期割引)	36.88%	日		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ〕賃料		
土木一般世話役	22.41%	人		土木一般世話役		
特殊作業員	21.69%	人		特殊作業員		
普通作業員	18.96%	人		普通作業員		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						

施工内訳表

頁0-0036

消波根固めブロック横取り

5.5tを超え11.0t以下

∴ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型)25t吊

施工 第0-0020号表

1

個 当り

機械構成比： 36.88%

勞務構成比：

63. 12%

材料構成比： 0.00%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0037

消波根固めブロック横取り

施工 第0-0021号表

2.5tを超え5.5t以下

ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型)25t吊

1

個 当り

機械構成比： 36.88%

労務構成比：

63.12%

材料構成比：

0.00%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ〕賃料 排ガス1次∴25t吊(長期割引)	36.88%	日		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ〕賃料		
土木一般世話役	22.41%	人		土木一般世話役		
特殊作業員	21.69%	人		特殊作業員		
普通作業員	18.96%	人		普通作業員		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						

施工内訳表

頁0-0038

消波根固めブロック横取り

2.5tを超え5.5t以下

∴ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型)25t吊

施工 第0-0021号表

1

個 当り

機械構成比： 36.88%

勞務構成比：

63. 12%

材料構成比：

0.00%

市場單價構成比：

0.00%

標準単価：

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0039

消波根固めブロック据付け

施工 第0-0022号表

5.5tを超え11.0t以下

陸上

1

個 当り

機械構成比： 26.08%

労務構成比： 58.07%

材料構成比： 15.85%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ〕賃料 排ガス1次∴25t吊（長期割引）	26.08%	日		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ〕賃料		
普通作業員	26.86%	人		普通作業員		
土木一般世話役	15.83%	人		土木一般世話役		
特殊作業員	15.33%	人		特殊作業員		
連結金具 シャックル SB φ22mm	15.85%	個		連結金具 根固めブロック用 φ16		
積算単価		式		積算単価		

施 工 内 訳 表

頁0-0040

消波根固めブロック据付け

施工 第0-0022号表

5.5tを超え11.0t以下

陸上

1

個 当り

機械構成比： 26.08%

労務構成比： 58.07%

材料構成比： 15.85%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
*** 単位当り ***						
消波根固めブロック規格：5.5tを超え11.0t以下 消波根固めブロック10個当り連結金具設置数量：9 クレーン機種： ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型)25t吊				据付場所：陸上 据付方法：層積 クレーンの賃料補正係数：1		

施 工 内 訳 表

頁0-0041

消波根固めブロック据付け

2.5tを超え5.5t以下

陸上

施工 第0-0023号表

1

個 当り

機械構成比： 25.32%

労務構成比： 56.31%

材料構成比： 18.37%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ〕賃料 排ガス1次∴25t吊（長期割引）	25.32%	日		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ〕賃料		
普通作業員	26.00%	人		普通作業員		
土木一般世話役	15.37%	人		土木一般世話役		
特殊作業員	14.89%	人		特殊作業員		
連結金具 シャックル S B φ22mm	18.37%	個		連結金具 根固めブロック用 φ16		
積算単価		式		積算単価		

施 工 内 訳 表

頁0-0042

消波根固めブロック据付け

施工 第0-0023号表

2.5tを超え5.5t以下

陸上

1

個 当り

機械構成比： 25.32%

労務構成比： 56.31%

材料構成比： 18.37%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
*** 単位当り ***						
消波根固めブロック規格：2.5tを超え5.5t以下 消波根固めブロック10個当り連結金具設置数量：9 クレーン機種： ラフテレーンクレーン(油圧伸縮シブ型)25t吊				据付場所：陸上 据付方法：層積 クレーンの賃料補正係数：1		

施 工 内 訳 表

頁0-0043

じゃかご

撤去

径60cm

施工 第0-0024号表

1

m 当り

機械構成比： 17.93% 労務構成比： 75.19% 材料構成比： 6.88% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ（クローラ型）〔標準型〕 排ガス2次∴山積0. 8 m 3	17.93%	供用日		バックホウ（クローラ型）〔標準型〕 排ガス2次		
普通作業員	31.47%	人		普通作業員		
特殊作業員	21.57%	人		特殊作業員		
特殊運転手	14.73%	人		運転手（特殊）		
土木一般世話役	7.42%	人		土木一般世話役		
軽油	6.88%	L		軽油 1. 2号 パトロール給油		

施 工 内 訳 表

頁0-0044

じゃかご
撤去

施工 第0-0024号表

1 m 当り

機械構成比： 17.93% 労務構成比： 75.19% 材料構成比： 6.88% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
作業区分：撤去 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				じゃかご径：径60cm		

施 工 内 訳 表

頁0-0045

掘削 大型土のう移設 再利用

土砂 障害なし

オープンカット

施工 第0-0025号表

1

m 3 当り

機械構成比： 47.36% 労務構成比： 34.34% 材料構成比： 18.30% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ（クローラ型）〔標準型〕 超低騒音・排ガス3次 \therefore 山積0.8m ³	47.36%	供用日		バックホウ（クローラ型）〔標準型〕 超低騒音・排ガス3次		
特殊運転手	34.34%	人		運転手（特殊）		
軽油	18.30%	L		軽油 1.2号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
土質：土砂 押土の有無：押土なし 施工数量：5,000m ³ 未満				施工方法：オープンカット 障害の有無：障害なし 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ		

土工用マット（シート類） 撤去
ブルーシート #3000

頁0-0046

[illegible]

施工内訳表

頁0-0047

輸送費 (蛇籠鉄線)

片道計上 片道輸送距離 20 kmまで

製品長12m以内

施工 第0-0027号表

1	t	当り
---	---	----

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0048

混合廃プラ等運搬

施工 第0-0028号表

標準 DID区間なし 15.5km以下

バックホ

1

m 3 当り

機械構成比： 47.26% 労務構成比： 37.92% 材料構成比： 14.82% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] ∴ 1 0 t 積級	47.26%	供用日		ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		
一般運転手	37.92%	人		運転手 (一般)		
軽油	14.82%	L		軽油 1. 2号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
土砂等発生現場：標準 土質：土砂(岩塊・玉石混り土含む) 運搬距離：15.5km以下				積込機種・規格：バックホ DID区間の有無：DID区間なし 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ		

施 工 内 訳 表

頁0-0049

敷鉄板設置・撤去工

施工 第0-0029号表

設置～賃料～撤去：供用60日

：使用回数2回

1000

m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
敷鉄板（リース）	500.00	m ²			
敷鉄板整備費	500.00	m ²			
特殊作業員	2.90	人			
普通作業員	2.90	人			
バックホウ（クロー型クレーン機能付）（機械賃料） 山積0.8（平積0.6）m ³ 2.9t吊 排対型3次：賃料長期割引有（30日以上）	3.31	日			施工 第0-0030号表
軽油	365	L			
特殊運転手	2.90	人			
*** 合 計 ***	1,000	m ²			
*** 単位当り ***	1	m ²			
施工区分：設置～賃料～撤去 使用回数：2 敷鉄板整備費単価：			供用日数：60 敷鉄板単価： 1工事当たり機械総供用日数区分（BH）：30日以上		

バックホウ(クロー型クレーン機能付) (機械賃料)

施工 第0-0030号表

排対型 3 次: 賃料長期割引有 (30 日以上)

1 目 当り

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0051

敷鉄板設置・撤去工

施工 第0-0031号表

設置～賃料～撤去：供用 6 0 日

：使用回数 1 回

1000

m 2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
敷鉄板 (リース)	1,000.00	m 2			
敷鉄板整備費	1,000.00	m 2			
特殊作業員	2.90	人			
普通作業員	2.90	人			
バックホウ(クロー型クレーン機能付)(機械賃料) 山積0.8(平積0.6)m3 2.9t吊 排対型3次：賃料長期割引有(30日以上)	3.31	日			施工 第0-0030号表
軽油	365	L			
特殊運転手	2.90	人			
*** 合 計 ***	1,000	m 2			
*** 単位当り ***	1	m 2			
施工区分：設置～賃料～撤去 使用回数：1 敷鉄板整備費単価：			供用日数：60 敷鉄板単価： 1工事当たり機械総供用日数区分(BH)：30日以上		

施工内訳表

頁0-0052

輸送費 (敷鉄板)

施工 第0-0032号表

往復計上 片道輸送距離 10 kmまで

製品長12m以内[冬季割増有]

1	t	当り
---	---	----

[illegible]

計 算 調 書

レベル4(細別)	レベル5(規格)	算 式	数量	総量	単位	備考
土工		横断面図・標準断面図より				
掘削	BH;標準	別紙;土積計算書 1より	2561.90	≒ 2,560	m3	SZA101
盛土	BD 築堤締固め	別紙;土積計算書 1より	2635.90	≒ 2,640	m3	SZA113
埋戻し	コンパクタ	別紙;土積計算書 1より	41.70	≒ 42	m3	S0008
埋戻投入	ルーズ	$41.7^{[埋戻]} / 0.9^{[換算係数]} =$	46.33	≒ 46	m3	SZA125
押え盛土	振動ローラ	別紙;土積計算書 2より	1092.70	≒ 1,090	m3	S0042
押え盛土投入	ルーズ	$1092.7^{[押盛土量]} / 0.9^{[換算係数]} =$	1214.11	≒ 1,210	m3	SZA125
石礫除去	押え盛土 ふるい		1214.11	≒ 1,210	m3	S0354
詰石工投入	IP2～220区間 20cm内外	$138^{[延長]} \times (0.06^{[断面積]} \times 2) =$	16.56	≒ 17	m3	SZA125

計 算 調 書

[illegible]

土積計算書 1

測点	距離 (m)		切土 (m3)				盛土 (m3)						床均し(m2)	
			掘削 C1		床掘 C2		盛土 B1		埋戻 B2				CL2	
	点間	平均	断面	①土量	断面	②土量	断面	④土量	断面	⑤土量	断面	面積	断面	面積
0.0														
20.0														
IP.1														
IP.2		9.10	23.3	212.0					0.3	2.7			5.1	46.4
100.0	18.20	9.10	18.0	163.8					0.3	2.7			5.1	46.4
100.0		3.50	17.9	62.7			4.1	14.4	0.3	1.1			5.1	17.9
107.0	7.00	3.50	15.6	54.6			2.9	10.2	0.3	1.1			5.1	17.9
107.0		6.50	15.6	101.4			0.2	1.3	0.3	2.0			5.1	33.2
120.0	13.00	16.50	19.2	316.8			0.1	1.7	0.3	5.0			5.1	84.2
140.0	20.00	15.00	14.9	223.5			9.3	139.5	0.3	4.5			2.8	42.0
150.0	10.00	10.00	20.6	206.0			3.6	36.0	0.3	3.0			2.8	28.0
160.0	10.00	15.00	21.2	318.0			22.6	339.0	0.3	4.5			2.8	42.0
180.0	20.00	20.00	24.3	486.0			46.4	928.0	0.3	6.0			2.8	56.0
200.0	20.00	12.50	15.5	193.8			50.9	636.3	0.3	3.8			2.8	35.0
205.0	5.00	10.00	14.0	140.0			47.7	477.0	0.3	3.0			2.8	28.0
220.0	15.00	7.50	11.1	83.3			7.0	52.5	0.3	2.3			2.8	21.0
合計	138.20			2561.90				2635.90		41.70				498.00

土積計算書 2

測 点	距 離 (m)		切 土 (m3)				盛 土 (m3)				切土仕上げ(m2)		盛土仕上げ(m2)	
			切 土 C1		床 掘 C2		押盛土 B3				CL		BL	
	点 間	平 均	断面	①土量	断面	②土量	断面	④土量	断面	⑤土量	断面	面積	断面	面積
0.0		10.00												
20.0	20.00	13.85												
IP.1	7.70	3.85												
IP.2		9.10					8.2	74.6			8.5	77.4		
100.0	18.20	9.10					8.2	74.6			8.5	77.4		
100.0		3.50					8.2	28.7			8.5	29.8	3.1	10.9
107.0	7.00	3.50					8.2	28.7			8.5	29.8	3.1	10.9
107.0		6.50					8.2	53.3			8.5	55.3		
120.0	13.00	16.50					8.2	135.3			8.5	140.3		
140.0	20.00	15.00					8.2	123.0			8.2	123.0	3.2	48.0
150.0	10.00	10.00					8.2	82.0			15.7	157.0	3.2	32.0
160.0	10.00	15.00					8.2	123.0			7.6	114.0	11.5	172.5
180.0	20.00	20.00					8.2	164.0			5.8	116.0	13.3	266.0
200.0	20.00	12.50					7.2	90.0			3.6	45.0	14.5	181.3
205.0	5.00	10.00					7.2	72.0			3.6	36.0	14.5	145.0
220.0	15.00	7.50					5.8	43.5			6.8	51.0	4.6	34.5
合 計	165.90							1092.70				1052.00		901.10

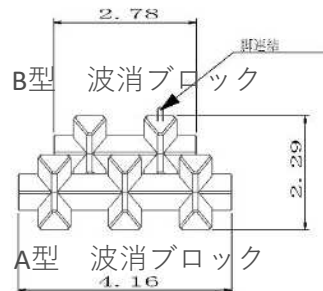
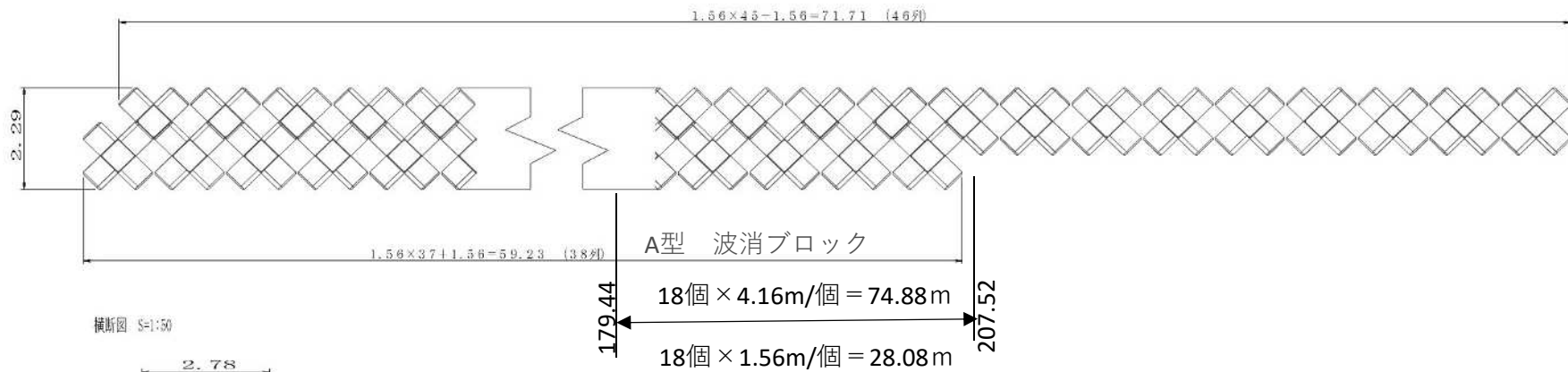
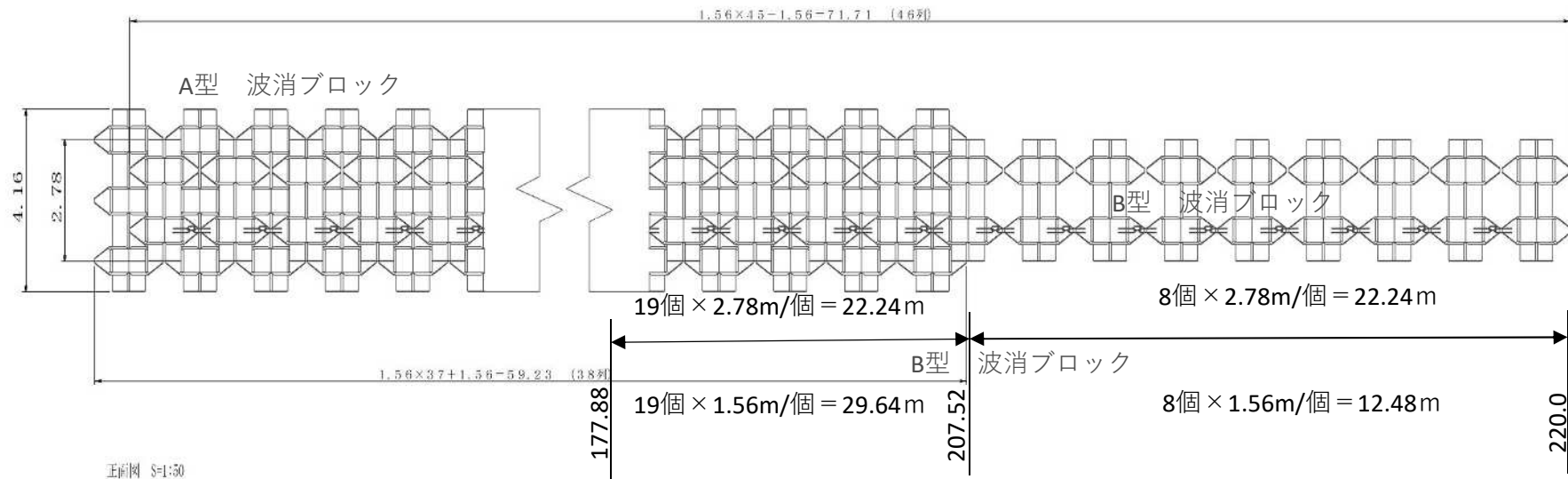
計 算 調 書

レベル4(細別)	レベル5(規格)	算 式	数量	総量	単位	備考
水路かご復旧		平面図・標準断面図 より				
フトン籠 1200×500	IP2.～180	$(180-82^{[延長]}) \times 11^{[段]} =$	1078.00			
全延長	180～+190	$(190-180^{[延長]}) \times 11^{[段]} =$	110.00			
	+190～+206	$(206-190^{[延長]}) \times 10^{[段]} =$	160.00			
	+206～+213	$(213-206^{[延長]}) \times 9^{[段]} =$	63.00			
	+213～220	$(220-213^{[延長]}) \times 8^{[段]} =$	56.00			
	合計		1467.00	m		
材石利用フトン籠 1200×500	材石利用じゃ籠 別紙計算書より	$224.4 / 5.70\text{m}^3/10\text{m} =$	393.70	≒ 394	m	G1000
吸出し防止材	t=10mm合繊不織布	$394^{[m]} \times 1.20^{[m]} \times 1.07^{[割増率]} =$	505.90	≒ 506	m ²	T5305
フトン籠 1200×500	網目15cm 割栗石15～20cm	$1467^{[m:全延長]} - 394^{[m:材石使用延長]} =$	1073.00	≒ 1,073	m	SZA885
止杭打込み		IP2～220 (L=138.2m L=2mピッチに打設)				
	φ9cm L=1.5m	$((138.2/2)+1) \times 3^{[本]} =$	210.30	≒ 210	本	SZA889

計 算 調 書

[illegible]

波消ブロック移設調書



使用個数
三基ブロック A-55型 38個
三基ブロック B-55型 46個

連結金具 (φ19) 45個
挿入鉄筋 (φ19) 90本

A型 18個 × 4.16m/個 = 74.88m

B型 19 + 8 = 27個 × 2.78m/個 = 75.06m

計 149.94m

平成18年 災害復旧事業 重光堰地区 導水路復旧工事図面より

計 算 調 書

[illegible]

計 算 調 書

レベル4(細別)	レベル5(規格)	算 式	数量	総量	単位	備考
既設構造物処理						
じゃ籠廃材運搬	鉄くず 混合廃棄物	$831.2^{[じゃ籠撤去長]} \times 0.003^{[t/m]} =$	2.5	≒ 3.0	t	S0558
ブルーシート運搬	ブルーシート #3000	$0.53m \times 0.61m \times 0.25m = 0.081m^3 (10枚) \cdots 新材梱包$				
		$297m^2 / (5.4 \times 3.6 \times 10) = 1.53包 \times 0.081m^3 =$	0.124	≒ 0.1	m3	SZA105
産業廃棄物処理工						
じゃ籠処理費	鉄くず 混合廃棄物	$831.2^{[じゃ籠撤去長]} \times 3.36^{[kg/m]} =$	2792.83	≒ 2,793	kg	見積単価 50円/kg
廃プラ処理費	ブルーシート #3000	$廃プラ運搬[包] \times 30.0[kg/10枚] =$	45.90	≒ 46	kg	W0200

【既設材石利用】数量算出調書

名称	測点	点間距離 m	蛇籠延長	蛇籠平均長 (m)	蛇籠本数 点間距離÷0.6	総延長 (m)	石材量 (m3/10m)	利用石材 (m3)
				横断面より				
じゃ籠φ600	IP.2	0.0	7.0					
〃	100	18.2	5.1	6.1	30	183.0	2.70	49.4
〃	100	0.0	5.1	5.1	0	0.0	2.70	0.0
〃	107	7.0	6.4	5.8	12	69.6	2.70	18.8
〃	107	0.0	6.4	6.4	0	0.0	2.70	0.0
〃	120	13.0	6.5	6.5	22	143.0	2.70	38.6
〃	140	20.0	7.0	6.8	33	224.4	2.70	60.6
〃	160	20.0	0.0	3.5	33	115.5	2.70	31.2
〃	180	20.0	0.0	0.0	33	0.0	2.70	0.0
〃	200	20.0	0.0	0.0	33	0.0	2.70	0.0
〃	220	20.0	5.7	2.9	33	95.7	2.70	25.8
合計					既設じゃかご撤去	831.2		224.4

材石利用

224.4 × 1.0(有効率)=

224.4 m3

計 算 調 書

レベル4(細別)	レベル5(規格)	算 式	数量	総量	単位	備考
任意仮設工		仮設計画参考図より				
敷鉄板 設置・撤去	1回目 既設→移設(2回使用)	全長 $220-177=43\text{m}$ -(上流:11+下流:14)=18m(アームの控除) 延長:18.0m×幅:8.0m=	144.00	} 288.0		
	2回目 移設→据付(2回使用)		144.00		m2	
	移設→据付(1回使用)	全長 $220-140=80\text{m}$ -(上流:14+下流:14)=52m 延長:52.0m×幅:8.0m=416.0-144.0(2回)	272.00	≡ 272.0	m2	
	計		560.00			
仮設搬入路	B=4.0m		170.00	≡ 170.0	m	
運搬費						
輸送費(敷鉄板)	1524×3048	[(144.0[m2] +272.0[m2]) ÷ (1.524×3.048)[m2]] × 0.802[t] =	71.82	≡ 72	t	

仮設供用日数算定調書

(単位は少数2位切上げ)

項目	名称	規格	数量	単位	標準日施工量	班数	作業日数	備考①	備考②
準備工									草刈り等
土工	掘削		2562	m3	230	5	2.2		
	床掘			m3	220	5			
	盛土		2636	m3	370	5	1.4		
	埋戻		42	m3	370	5			
	積込ルーズ			m3	310				
	運搬			m3	182				
	押さえ盛土		1093	m3	310	5	0.7		
	不足土掘削積込		1650	m3	230	5	1.4		
	不足土運搬		1646	m3	91	5	3.6		
	法面整形 切土		1052	m2	140	5	1.5		
	〃 盛土		901	m2	140	5	1.3		
	基面整正		498	m2	50	5	2.0		
本土工	フトン簀		1467.0	m	18	5	16.3		全体1467.0m
	木杭打ち		210.0	本	17	5	2.5	210本	
	吸出し防止材		1760.4	m2	625	5	0.6	1467m×1.2m＝	0.16人/100m2
	遮水シート(ペントナイト)		1823.9	m2	300	5	1.2		全体1824m2
撤去	蛇簀撤去	φ 600	831.2	m	62	5	2.7		設置の2倍
	根固めブロック	撤去 11t以下	18.0	個	52	1	0.3		
		〃 5.5t以下	27.0	個	74	1	0.4		
		据付 11t以下	18.0	個	36	1	0.5		
		〃 5.5t以下	27.0	個	43	1	0.6		
		合計					39.2		

供用日数

39.2

× 1.5

＝

58.8

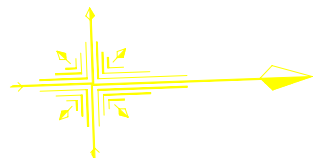
≒2ヶ月リースとする。

グループ単価計算調書

レベル4(細別)	レベル5(規格)	算 式	数量	総量	単位	備考
G1000		フトン籠(材石利用)設置工	10m当り			
		1200×500(スロープ式)				
世話役		別紙より	0.270	≒ 0.27	人	RA125
特殊作業員		別紙より	0.290	≒ 0.29	人	RA005
普通作業員		別紙より	1.000	≒ 1.00	人	RA010
フトン籠	1200×500 網目15	別紙より	10.000	≒ 10.00	m	TR914
詰石	15～20cm	材石使用	-	-		
バックホウ		別紙より	1.600	≒ 1.60	hr	MA185
軽油		別紙より	26.000	≒ 26.00	リットル	TSX24
特殊運転手		別紙より	0.260	≒ 0.26	人	RA070
		別紙 S0260 参照				

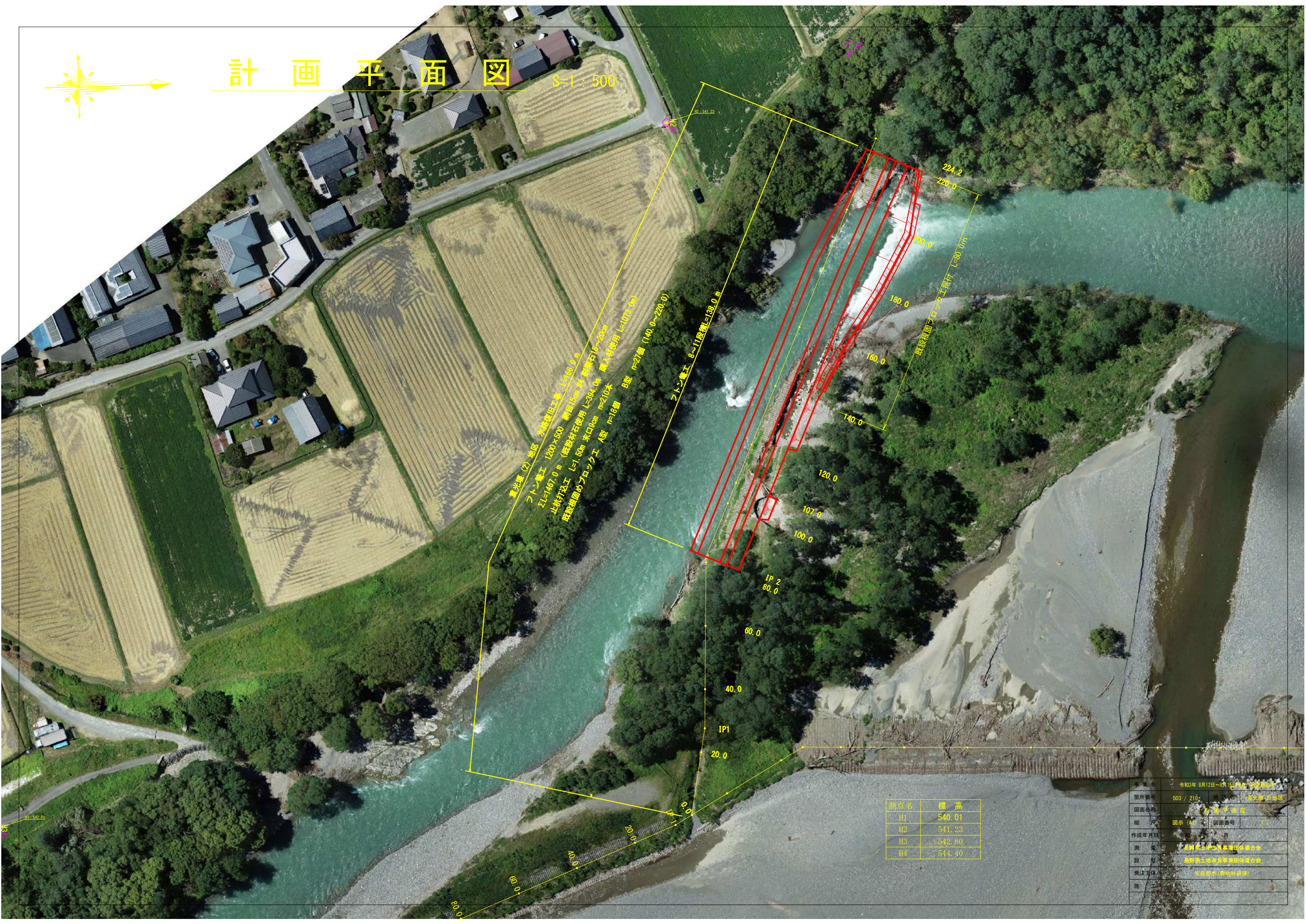
グループ単価計算調書

[illegible]



計画平面図

S=1:500



量光量 (2) 地区 水防用旧工事 L=138.0 m
フトン壁工 1200x500 鋼管15mm 鋼管石15x20cm
止杭打込工 L=1.50m 未口8cm n=210本 鋼管石使用 L=1075.0m
既設擁壁ブロック工 L=80.0m

フトン壁工 8~11段 L=138.0 m

測点名	標高
H1	540.01
H2	541.23
H3	542.80
H4	544.40

事業名	令和3年 8月12日~8月15日 河川敷整備工事
箇所番号	503 / 210
地区名	河川敷整備地区
図面名称	計画平面図
縮尺	図示 (A1)
図面番号	1
作成年月日	令和 3 年 月
測量	長野県土地改良事業団測量会
設計	長野県土地改良事業団測量会
免注主体	河川敷整備地区
施工	

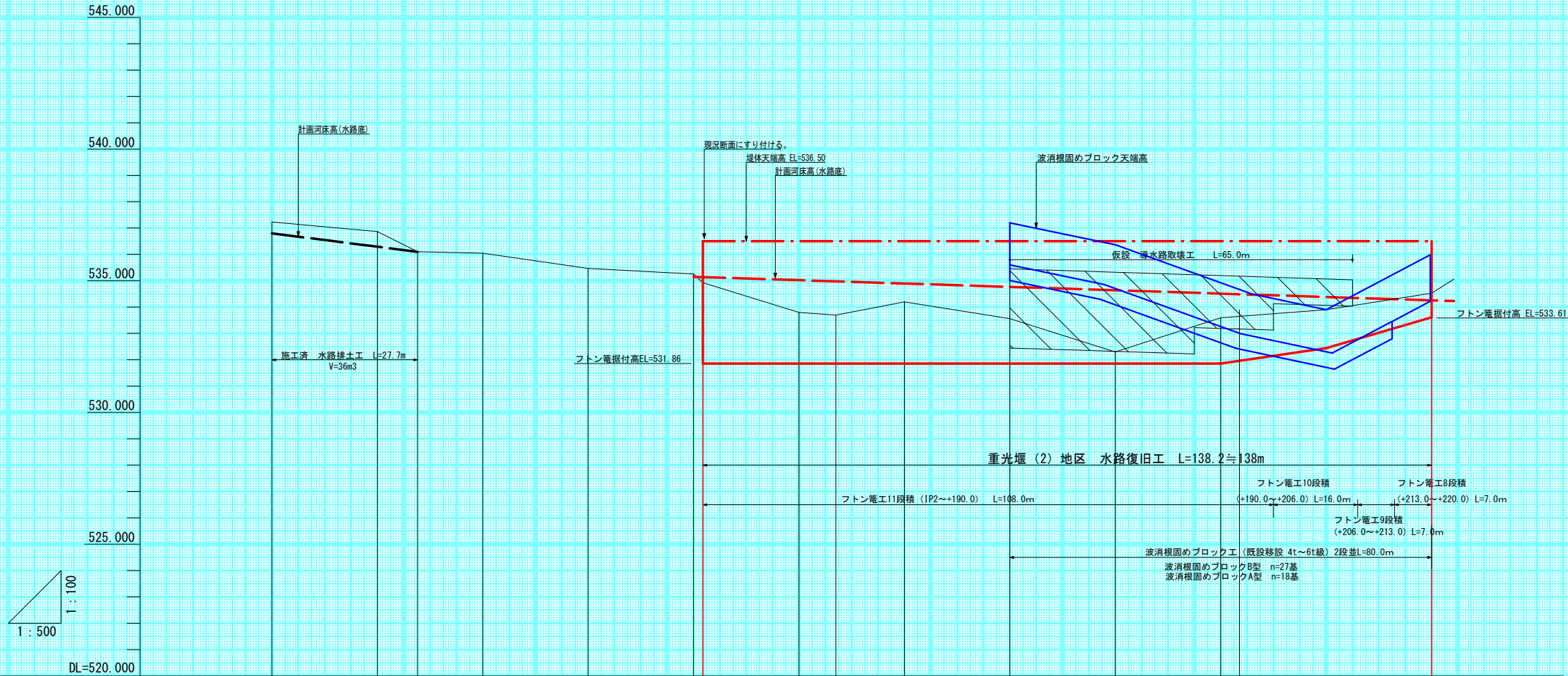
縦断面図

(重光堰(2)水路)

V=1:100

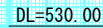
H=1:500

事業名	令和3年 8月12日～8月15日発生 8月豪雨災害		
箇所番号	503 / 210	地区名	重光堰(2)地区
図面名称	縦断面図		
縮尺	図示 (A1)	図面番号	1 / 1
作成年月日	令和 年 月		
測量	長野県土地改良事業団体連合会		
設計	長野県土地改良事業団体連合会		
発注主体	安曇野市(耕地林務課)		
施工			

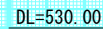


現況		計画		
測点	区間距離	追加距離	地盤高	
河床高	仮設導水路天端高	計画高 (杭位置)	河床勾配	堤体天端高配
0.0	0.000	0.000	537.23	

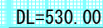
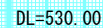
100.0
GH=533.80
FH=533.94



床均し(水平切部)CL2= 5.1 5.1



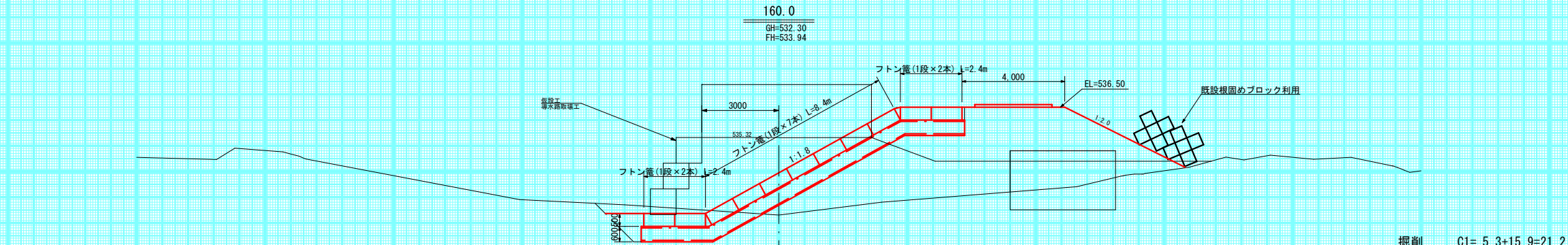
床均し(水平切部)CL2= 5.1



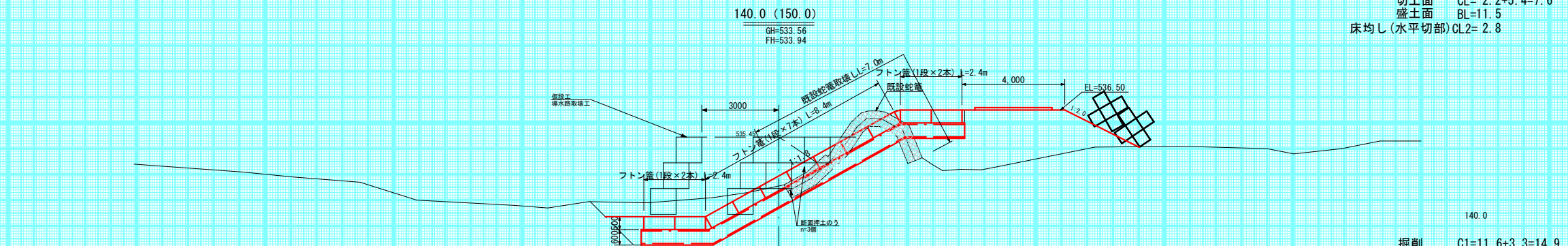
※注) 既設蛇籠の詰石を再利用するため、材石量を把握し監督員に報告すること。

事 業 名	令和3年8月12日～8月15日発生 8月豪雨災害		
箇所番号	503 / 210	地 区 名	重光堰 (2) 地区
図面名称	横断面図 (2)		
縮 尺	図示 (A1)	図面番号	1 / 3
作成年月日	令和 年 月		
測 量	長野県土地改良事業団体連合会		
設 計	長野県土地改良事業団体連合会		
発注主体	安曇野市(耕地林務課)		
施 工			

横断図(3) S=1:100
(重光堰(2)水路)

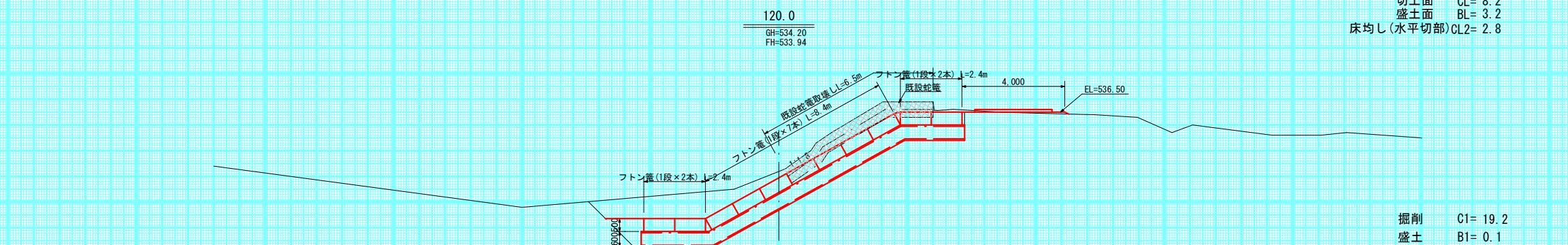


掘削 C1= 5.3+15.9=21.2
盛土 B1= 14.8+7.8=22.6
埋戻し B2= 0.3
押え盛土 B3= 8.2
切土面 CL= 2.2+5.4=7.6
盛土面 BL=11.5
床均し(水平切部)CL2= 2.8

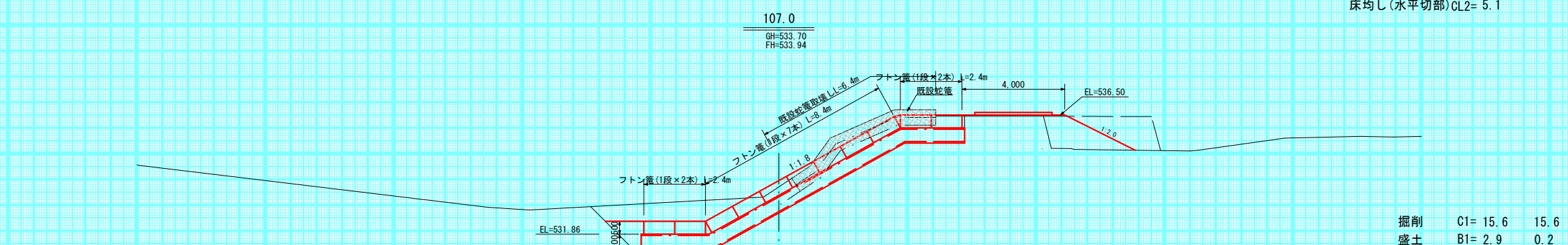


掘削 C1=11.6+3.3=14.9
盛土 B1=12.6-3.3=9.3
埋戻し B2= 0.3
押え盛土 B3= 8.2
切土面 CL= 8.2
盛土面 BL= 3.2
床均し(水平切部)CL2= 2.8

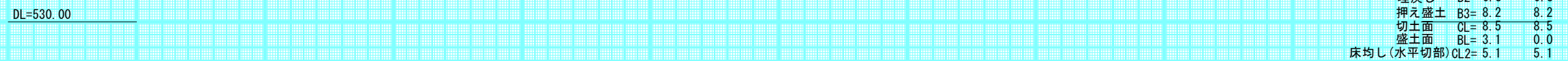
C1= 11.6+9.0=20.6
B1= 12.6-9.0=3.6
B2= 0.3
B3= 8.2
CL= 8.2+7.5=15.7
BL= 3.2
CL2= 2.8



掘削 C1= 19.2
盛土 B1= 0.1
埋戻し B2= 0.3
押え盛土 B3= 8.2
切土面 CL= 8.5
盛土面 BL= 0.0
床均し(水平切部)CL2= 5.1



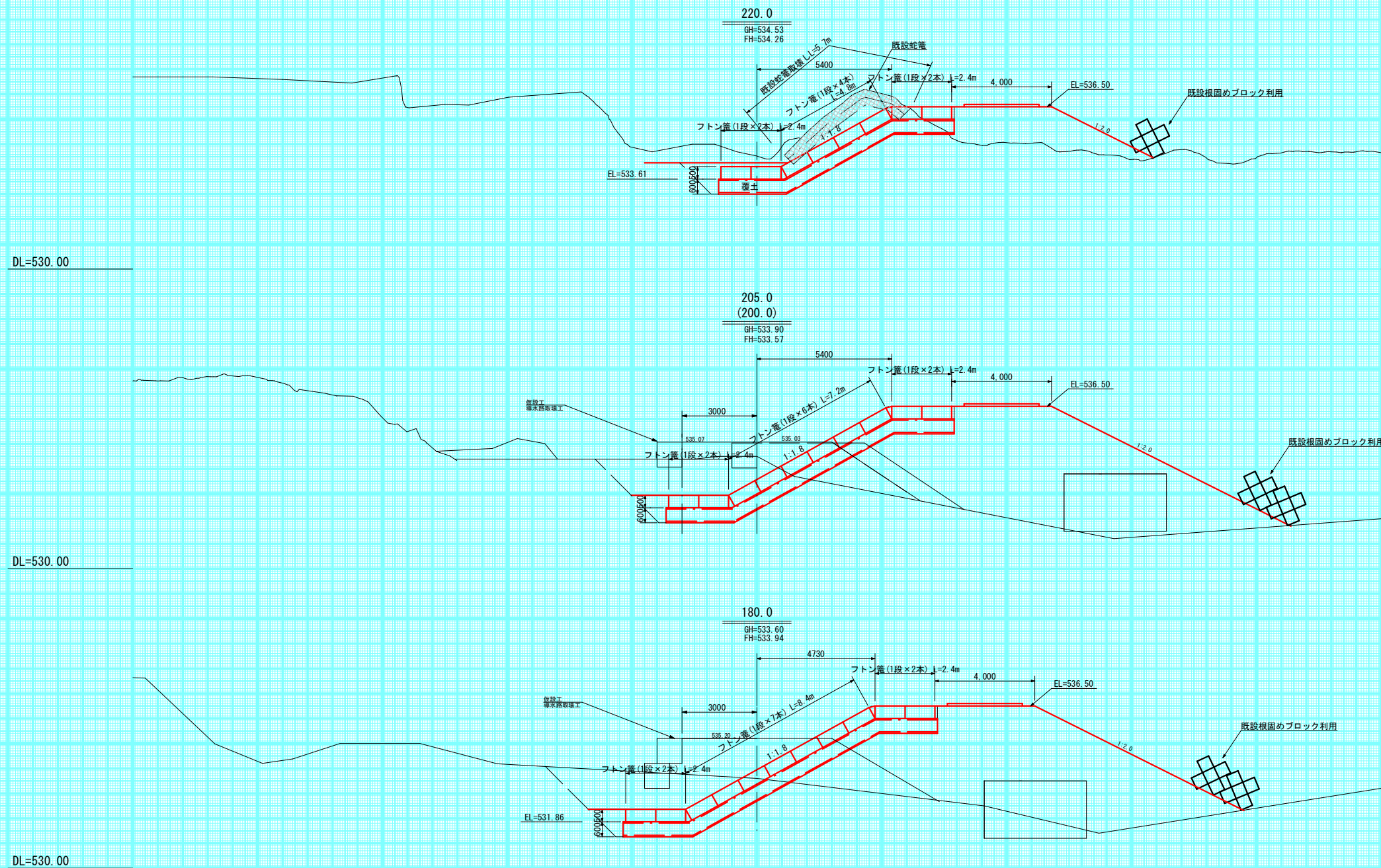
掘削 C1= 15.6 15.6
盛土 B1= 2.9 0.2
埋戻し B2= 0.3 0.3
押え盛土 B3= 8.2 8.2
切土面 CL= 8.5 8.5
盛土面 BL= 3.1 0.0
床均し(水平切部)CL2= 5.1 5.1



※注)仮設導水路工で使用した大型フトン管は別途工事で使用するため留意して取り外し保管すること。
既設蛇籠の詰石を再利用するため、材石量を把握し監督員に報告すること。

事業名	令和3年8月12日～8月15日発生 8月豪雨災害		
箇所番号	503 / 210	地区名	重光堰(2) 地区
図面名称	横断面図 (3)		
縮尺	図示 (A1)	図面番号	2 / 3
作成年月日	令和 年 月		
測量	長野県土地改良事業団体連合会		
設計	長野県土地改良事業団体連合会		
発注主体	安曇野市(耕地林務課)		
施工			

横断面図(4) S=1:100
(重光堰(2)水路)



掘削 C1= 11.1
盛土 B1= 9.3-2.3=7.0
埋戻し B2= 0.3
押え盛土 B3= 5.8
切土面 CL= 4.9+1.9=6.8
盛土面 BL= 4.6
床均し(水平切部)CL2= 2.8

	200.0	205.0
掘削	C1= 9.8+5.7=15.5	C1= 9.8+4.2=14.0
盛土	B1=50.9	B1= 47.7
埋戻し	B2= 0.3	B2= 0.3
押え盛土	B3= 7.2	B3= 7.2
切土面	CL= 3.6	CL= 3.6
盛土面	BL=14.5	BL=14.5
床均し(水平切部)	CL2= 2.8	CL2= 2.8

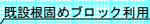
掘削 C1= 14.8+9.5 =24.3
盛土 B1=43.1+3.3=46.4
埋戻し B2= 0.3
押え盛土 B3= 8.2
切土面 CL= 4.5+1.3=5.8
盛土面 BL=13.3
床均し(水平切部)CL2= 2.8

※注)仮設導水路工で使用した大型フトン籠は別途工事で使用するため留意して取り外し保管すること。
既設蛇籠の詰石を再利用するため、材石量を把握し監督員に報告すること。

事業名	令和3年8月12日～8月15日発生 8月豪雨災害		
箇所番号	503 / 210	地区名	重光堰(2) 地区
図面名称	横断面図 (4)		
縮尺	図示 (A1)	図面番号	3 / 3
作成年月日	令和 年 月		
測量	長野県土地改良事業団体連合会		
設計	長野県土地改良事業団体連合会		
発注主体	安曇野市(耕地林務課)		
施工			

S=1 : 50

重光堰管理用道路標準断面図



※注) 既設の根固めブロックは整然と据え付けること。

フトン籠展開図(平面

No180.0~No.220.0



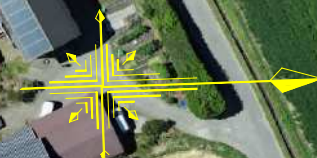
法面部

天端部

※IP2～No. 180.0は11段

事 業 名	令和3年8月12日～8月15日発生 8月豪雨災害		
箇所番号	503 / 210	地 区 名	重光塚(2) 地区
図面名称	標準断面図・フトン施展開図		
縮 尺	図示 (A1)	図面番号	1 / 1
作成年月日	令和 年 月		
測 量	長野県土地改良事業団体連合会		
設 計	長野県土地改良事業団体連合会		
発注主体	安曇野市(耕地林務課)		
施 工			

仮設計画参考図 S=1 : 500



北

※参考 仮設（重機等）搬入路 B=4.0m L=170m

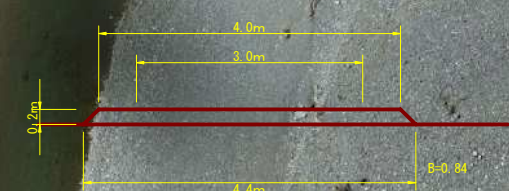
資材等搬入路（既設重光堰管理道） B=4.0m

資材等搬入路（既設重光地区） B=4.0m

224.2
220.0
L=8m

※参考
新設鉄板 設置幅員
1回目目 L: 18.0m x 18.0m=144.0m
2回目目 L: 52.0m x 18.0m=416.0m

※参考 仮設（重機等）搬入路 標準断面図



※【特記】重要事項（特別仕様書にも記載）

- ◎ 関連工事内で「仮設工の共有」及び「重機進入路、資材搬入路の共有」等が発生する。
- ◎ 施工前に、監督員と交差協議を行い「連絡体制」及び「調整事項」の内容を決定をすること。
- ◎ 大型土のうを取り外しする際は、重光堰地区で再利用を行うため入念な作業を行い、安全な場所に保管すること。
（参考：仮設計画）
- ◎ 仮設道路（重機進入路・資材搬入路）については、豊科光地区で建設した搬入路を一部借用する計画である。
借用する場合は、遺憾の無いように調整を行い使用しなければならない。

事業名	令和5年 6月12日～6月15日発生 6月豪雨災害		
図面番号	001 / 010	地区名	重光堰(2)地区
図面名称	仮設計画平面図		
縮尺	図示(A1)	図面番号	1 / 1
作成年月日	令和 年 月 日		
測量	長野県土地改良事業推進委員会		
設計	長野県土地改良事業推進委員会		
発注主体	安曇野市（農地林業課）		
施工			

重光堰(2)地区 位置図 S=1/25,000(A4)



**令和3年8月12日～8月15日発生8月豪雨災害復旧事業
令和4年度 農業用施設災害復旧事業（R3繰越） 重光堰(2)地区 水路復旧工事
特別仕様書**

第1章 総則

この工事の施工に当たっては、
長野県農政部制定の「土木工事共通仕様書（最新版適用）」（以下「共通仕様書」という）
「土木工事現場必携（最新版）」、「設計変更ガイドライン（最新版）」、
「土木工事施工管理基準（最新版）」を適用する。
同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

第2章 工事内容

1. 目的

この工事は、表題の事業の一環として「水路」を復旧するために行うものである。

2. 工事場所

閲覧設計書に記載のとおり

3. 工事概要

この工事の概要は次のとおりである。

工事施工延長	水路工復旧L=	138	m
主要工事内訳			
・ 盛土工			V=2640m ³
・ 水路復旧工	フトン箆工1200×500		ΣL=1467.0m
・	(既設材石利用 L=394.0m 購入材使用 L=1073.0m)		
・ 止杭打込	末口9cm L=1.50m		n=210本

4. 工事数量

別冊金抜設計書による。

第3章 施工条件

1. 工程制限

該当なし。

2. 部分引渡し

該当なし。

3. 工事期間

工期は 契約日 ～ 令和 5年 3月 24日 までとする。

4. 協議関係

- ・ 本工事の着工前に「発注者」との協議を行うこと。また工事概要を書面にて関係者に周知すること。

5. 河川構造物の取り扱い、及び、竣工検査について

- ・ 本導水路工は農業用施設であるため安曇野市が、「国土交通省北陸地方整備局千曲川河川事務所」から「占用許可」を取っている。
- ・ 本工事に当たっては、安曇野市が「河川占用許可申請」を行う事になっている。
- ・ 申請後、許可については「令和4年10月」に許可の予定である。

※ 工事完了後に、事業主体とは別に河川事務所の完了検査を行う。

不合格の場合は、施工のやりなおしが生じる可能性がある為、十分に注意すること。

- ・ 河川事務所が行う完了検査の添付図書は、「許可による工作物の新築・改築工事の完成検査の方法」（千曲川河川事務所HP）を基にして作成し、添付図書を2部提出すること。

第4章 現場条件

1. 土質

河川内土砂（玉石）を想定している。

2. 第三者に対する処置

施工に際しては、振動、騒音、安全対策に十分留意しなければならない。

3. 公道に隣接する工事

公道の利用または公道に隣接する場合にあたっては、標識・安全施設の設置、工事全般の安全管理上の監視等を十分実施して、安全対策に万全を期すなど、工事の施工にあたっては、これを遵守しなければならない。

4. 建設副産物の処理

別添1のとおり。

河川内工事に伴う不足土は「河川内土砂」を利用するものとする。

5. 関連工事

令和4年度 農業用施設災害復旧事業(R3繰越) 重光堰地区 頭首工復旧工事

令和4年度 農業用施設災害復旧事業(R3繰越) 豊科光地区 犀川堰堤復旧工事

6. 関係機関との調整

別紙-1 「工程関係」 のとおり。

第5章 仮設

1. 任意仮設 【仮設計画参考図参照】

・ 資材搬入道路工	B=4.0m	L=170.0m
・ 敷鉄板	2回使用	A=288.0㎡
・ //	1回使用	A=272.0㎡

第6章 施工

1. 一般事項

(1) 水準点

この工事の水準点は、図面に示すKBMを使用しなければならない。

(2) 検測又は確認

監督員と打ち合わせをし、必要に応じて確認しなければならない。

2. 土工

共通仕様書「第1編第3章第3節」による。

3. 水路工

共通仕様書「第2編第5章」による。

4. 工事用材料（本体・付帯工・構造物他）

既製品の使用にあたっては、施工協議後速やかに使用承認を得てから設置すること。

本工事で使用する主要材料の規格及び品質、また監督員が指示する材料については、試験成績書等を提出し承認を得なければならない。

5. 施工段階における監督員の確認

監督員による段階確認は、共通仕様書「第1編第1章第1節1-1-27監督員等による確認及び立会等」に示す時期とし、書面あるいは連絡により依頼しなければならない。

共通仕様書以外の段階確認は、以下に掲げる工種、及び、施工段階において実施するものとする。

工種	確認	確認時期・頻度	備考
測点の確認	施工範囲の確認	契約後	起終点確認
丁張	法線・計画高の確認	丁張設置前後	適宜
堰堤工	計画高等の確認	監督員の指示による	適宜
仮設工	仮締切工の設置箇所	監督員の指示による	適宜
	実延長の確認		
その他	監督員が定めるもの	監督員の指示による	適宜

6. 施工時の注意事項

1. 大型土のうを取り外す際は、他工事で再利用を行うため入念な作業を行い、安全な場所に保管すること。また再利用が難しい物は監督員に報告し指示を仰ぐこと。
2. 渡り鳥等が飛来する期間であるため、騒音及び粉塵等を極力抑え、優しい工事に心がけること。
3. 既設蛇籠の詰石を再利用するため、材石量を把握し監督員に報告すること。

第7章 排出ガス対策型建設機械の使用

別添3のとおり。

第8章 施工管理

1. 施工管理

共通仕様書「第1編第1章第1節1-1-34施工管理」による。

2. 主任技術者の資格

主任技術者等は別添4「土木一式工事」における主任技術者又は監理技術者の資格要件の(1)又は(3)の資格を有するものでなければならない。

第9章 条件変更の補足説明

この工事の施工にあたり、自然的又は人為的な施工条件が設計図書等と異なる場合、及び、設計図書等に明示されていない場合の施工条件の変更に該当する主な事項は次のとおりである。

1. 排出ガス対策型建設機械を使用しない場合

第10章 現場環境改善費

(1) 現場環境改善費の内容は、別添5「現場環境改善費項目」のとおりとし、原則として計上項目のそれぞれから1内容以上選択し合計5つの内容を実施することとする。ただし、地域の状況・工事内容により組合せ、実施項目数及び実施内容を変更しても良い。詳細については、監督員と協議実施する。

(2) 以下に示す内容において、受注者は、具体的な実施内容、実施期間を施工計画書に含めて監督員に提出するものとする。

(3) 受注者は、工事完成時に現場環境改善費の実施状況が分かる写真を監督員に提出するものとする。

第11章 予想出来形数量の提出

受注者は、遅くとも工期の「1ヶ月前」までに予想出来高を取りまとめ、監督員に提出しなければならない。

第12章 定めなき事項

この仕様書に定めのない事項または、この工事の施工にあたり疑義が生じた場合には、必要に応じて監督員と協議するものとする。

第13章 その他

1. 工事区域内外の安全について

労働基準法、その他関係法規を厳守し、安全対策に万全を期すこと。

また、資材の仮置場での事故の発生のないように、十分な配慮を行うものとする。

2. 施工計画書の作成について

契約後速やかに起工測量を行い、現場を確認し早期に提出、協議を行うものとする。

3. 主任技術者又は監理技術者の資格要件

別添 4 のとおり。

別添1. 建設副産物に関する取り扱い

1. 共通事項

- (1) 「再生資源の利用促進に関する法律」等に基づき、本工事に係る再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含めて提出すること。また、工事完成後速やかに上記計画の実施状況（実績）について、再生資源利用実施書、再生資源利用促進実施書を作成し、竣工書類とともに提出すること。

なお、これらの記録は工事完成後1年間保存しておくこと。また、各様式については、監督員の指示に従うこと。

- (2) 建設産業廃棄物の収集運搬及び処分について

ア 建設産業廃棄物の収集運搬及び処分を委託する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と必ず書面による委託契約を締結すること。

イ 処理委託は、収集運搬業者と処分業者のそれぞれとの委託契約書を締結すること。

ウ 産業廃棄物処理業の許可証を確認し、委託契約書に許可証の写しを添付すること。

（扱える産業廃棄物の種類、処理方法及び許可の有効期限を確認していること。）

エ 発注者から直接工事を請け負った元請業者が排出事業者となり、元請業者が建設廃棄物の処理責任を負う。

オ 建設廃棄物の収集運搬及び処分を委託する場合は、産業廃棄物管理票（マニフェスト）を交付すること。

カ 上記アからオについては、竣工検査までに監督員の確認を受け、竣工書類に以下の書類を添付すること。

①収集運搬と処分それぞれの委託契約書の写し（請負業者が両方の許可を持つ場合はひとつ）

②委託契約書に添付された許可証の写し

③マニフェストのA票、B2票、D票、E票の写し（D票、E票については、後日であっても差し支えない。）

④再資源化施設、最終処分場との関係を示す写真

キ D票がマニフェストを交付した日から90日以内、E票がマニフェストを交付した日から180日以内に送付されていない場合は、地域振興局環境課又は県生活環境部廃棄物監視指導課に報告すること。

ク 請負者が施工計画書に記載又は整備すべき事項

処理方法	1 再資源化 2 破碎処理 3 焼却処理 4 埋立処分場 5 その他			
処理委託先 （業者）	業者名		許可番号	
	住所			
収集運搬委託先 （委託の場合）	業者名		許可番号	
	住所			
その他	資源化の方法など			

・添付書類

- 1) 処理先の許可証の写し及び収集運搬業者の許可証の写し（収集運搬を委託する場合）
- 2) 請負者と処理又は運搬業者との契約書の写し
- 3) 処理業者の所在地及び運搬ルート

2. 分別解体等及び再資源化等の条件

本工事の施工において生じる発生土・特定建設資材及び産業廃棄物の処分については、
下記の処分先を想定して処分費、運搬費を計上している。

(1) 建設発生土（残土及び不足土）

残土処理	任意 指定	地区名	—	運搬距離	—	km
------	----------	-----	---	------	---	----

条件 1. 指定の場合、地区名及び運搬距離を明示する。

2. 距離指定の場合、運搬距離のみ記入し、設計変更の対象とする。

(2) 特定建設資材（建設リサイクル法）

種別	処分条件	処理場名（運搬距離は金抜設計書参考明示）
<input type="checkbox"/> アスファルト・コンクリート塊	再利用	
<input type="checkbox"/> セメント・コンクリート塊		
<input type="checkbox"/> 無筋Co	再利用	
<input type="checkbox"/> 鉄筋Co		
<input type="checkbox"/> 二次製品		
<input type="checkbox"/> 建設資材木材		

【備考】 1. 設計上の「処理施設」を明示する。

2. 積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。

3. 上記条件明示より下回る場合は、変更の対象とする場合がありえる。

4. 現場条件や数量の変更等、請負者の責によるものでない事項については変更の対象とする。

(3) 産業廃棄物（建設廃棄物処理指針）

種別	処分条件	処理場名（運搬距離は金抜設計書参考明示）
<input type="checkbox"/> 木くず(伐根・伐採材)	再利用	
<input type="checkbox"/> 汚泥		
■ 廃プラスチック		Gフレンドリー
■ 混合廃棄物		しんえこ

別添 3. 排出ガス対策型建設機械の使用

本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、

「土地改良事業等請負工事標準機械経費算定基準」（昭和58年2月28日付58構改D第147号）で示す、排出ガス対策型建設機械の使用するものとする。

排出ガス対策型建設機械を使用できない場合でも、平成7年度建設技術評価制度公募課題

「建設機械の装着黒煙浄化装置の開発」または、これと同等の開発目標で実施された、民間開発建設技術の技術審査・証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用することで、排出ガス対策型と同等とみなす。

ただし、これにより難しい場合は監督員と協議すること。

排出ガス対策型建設機械あるいは装着黒煙浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。

対象機種一覧

一般工事用建設機械	備 考
バックホウ、ローラ類、発動発電機等	ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw～260kw）を搭載した建設機械に限る。

【備考】 道路運送車両の保安基準に排出ガス基準を定められている自動車の種別で、有効な自動車検査証の交付を受けているものを除く。

（注）協議の対象となる場合

- ① 工事地域周辺の市町村にあるリース会社に排出ガス対策型建設機械、あるいは同等な建設機械の在庫がない。
- ② 工事地域周辺の市町村にあるメーカーの販売店から排出ガス対策型建設機械、あるいは同等な建設機械を調達するのに大幅な時間がかかる。
等を証明する書類を提出した場合に限る。

別添 4. 「土木一式工事」における主任技術者又は監理技術者の資格要件

番号	資 格 の 内 容
(1)	<p>建設業法（昭和24年法律第100号）による技術検定（以下「技術検定」という。）のうち検定種目を一級の建設機械施工、若しくは、一級の土木施工管理とするものに合格した者、又は同法第15条第2号ハの規定により国土交通大臣の認定した者</p>
(2)	<p>技術検定のうち、検定種目を一級、二級の建設機械施工、若しくは、一級、二級の土木施工管理とするものに合格した者、又は建設業法第15条第2号ハの規定により国土交通大臣の認定した者</p> <p>ただし、監理技術者については、一級の建設機械施工、若しくは、一級の土木施工管理とするものに合格した者、又は同法第15条第2号ハの規定により国土交通大臣の認定した者</p>
(3)	<p>技術士法（昭和32年法律第124号）による二次試験のうち、技術部門を建設部門、農業部門（選択科目を「農業土木」とするものに限る。）又は林業部門（選択科目を「森林土木」とするものに限る。）とするものに合格した者</p>

別添 5 現場環境改善費項目

計上項目	実施する内容（率計上分）
仮設備関係	①用水・電力等の供給設備
	②緑化・花壇
	③ライトアップ施設
	④見学路及び椅子の設置
	⑤昇降設備の充実
	⑥環境負荷の低減
Ass営繕関係	①現場事務所の快適化（女性用更衣室、快適トイレの設置を含む）
	②労働者宿舎の快適化
	③デザインボックス（交通誘導警備員待機室）
	④現場休憩所の快適化
	⑤健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	①工事標識・照明等安全施設のイメージアップ（電光式標識等）
	②盗難防止対策（警報器等）
	③避暑（熱中症予防）・防寒対策
地域連携	①地域対策費（農家との調整、地域行事等の経費を含む）
	②完成予想図
	③工法説明図
	④工事工程表
	⑤デザイン工事看板（各工事PR看板含む）
	⑥見学会等の開催（イベント等の実施含む）
	⑦見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営
	⑧パンフレット・工法説明ビデオ
	⑨社会貢献

（参照）工事における現場環境改善費の積算要領
<https://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/genbakankyokaizenhi.html>

工 程 関 係

1)本工事に近接ないし競合して下記の工事が施工されるので、請負者間相互の連絡・調整を密にして施工すること。

なお、連絡及び調整事項の内容を監督員に報告すること。

発注者	工事名	工期または工事内容等	影響箇所	備 考
<p>【※】特別仕様書 第4章 現場条件のとおりとする。以下は「追加事項」を記載する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連工事内で「仮設の共用」「重機進入、資材搬入期間の重複」等が発生する。 ・施工前に、監督員を交え、協議を行い、調整を行うものとする。 ・大型土のうを取り外す際は、他工事で再利用を行うため入念な作業を行い、安全な場所に保管すること。 ・(参考 仮設計画) 仮設道路(重機進入路・資材搬入路)については、豊科光地区で建設した道路を一部借用する計画である。 借用した場合は、遺憾の無いように調整を行い使用しなければならない。 				

(2)本工事において、施工期間及び施工方法等下記の制約条件があるため適切な処置を行うこと。

制約条件	位置等	制約条件及び内容
数量、図面との 不一致箇所協議	本工事区間内	契約後現地調査を実施し、数量及び図面との整合を図る。 不一致箇所があれば協議書に図面、写真等を添えて協議すること。
予想出来形展開図 の提出	本工事区間内	受注者は、工期の「1ヶ月前」までに予想出来高を取りまとめ、 出来高を提出すること。
80%出来形展開図 の提出	本工事区間内	監督員の指示による。
その他	本工事区間内	本地区の構造物は「河川占用工作物」である。 構造に関しては「千曲川河川事務所」との協議を行っている。 構造の変更に関する事は、随時、協議をすること。 また災害復旧事業である為、工事内容等に関することも、 随時協議すること。

(3)本工事において、下記のとおり関係機関及び地域住民との協議をするものとしている。

関係機関等	事 項	制約内容	時 期
安曇野市 農林部 耕地林務課	本工事に関すること及び その他必要事項	地元対応に関すること。 既設構造物の修繕、改修に関すること。	契約後即対応のこと。 また、工期内とする
安曇野市 都市建設部 建設課	その他 必要事項	既設構造物の修繕、改修に関すること。	関係課と協議の上
安曇野市 都市建設部 監理課	通行制限方法	工事区間内全面通行止め。 予告看板、迂回路看板等の設置	工期内とする
安曇野市教育委員会	小中学校の 通学路確認	関係機関指導のもと	契約後即対応のこと。 また、工期内とする
関係区長	工事内容、 工事期間、 迂回路などの説明	上記と同様	契約後即対応のこと
工事区間内住民	上記と同様	関係機関指導のもと (ただし、無理難題が出される場合には、 丁寧に断ることも必要であり、 監督員との協議をすること。 特に工事内容・金額に関わりそうなことは、 忘れずに協議すること)	契約後即対応のこと。 また、工期内とする
工事区間内農地所有者 又は管理者及び工事区 間内への様々な物の搬 出、搬入など	稲刈り時期、その他収 穫時期、工事の進捗及 び耕作上支障となること の協議	上記と同様	上記と同様
周辺店舗など	駐車場、 案内看板などの協議	関係機関指導のもと(ただし、無理難題が出され る場合には、丁寧に断ることも必要であり、監督 員との協議をすること。特に工事金額に関わりそ うなことは忘れずに協議すること)	契約後即対応のこと。 また、工期内とする
支障工作物	特別仕様書内 記載のとおり	関係機関指導のもと	契約後即対応のこと
その他	必要に応じて 対応すること	上記と同様	苦情、要望など 即対応すること。 また、工期内とする

土木工事における提出書類一覧表

請負契約後提出書類

種 類		内 容		頻 度
1	着手届			契約毎
2	工程表			契約毎
3	現場代理人、主任(監理)技術者の通知	技術者経歴書の添付 資格証の写し添付		契約毎
4	技術者報告書	2,500万円以上の工事		契約毎
5	監理技術者の資格証の写し	下請金額3,000万円以上になる場合		契約毎
6	社会保険証の写し	現場代理人、主任技術者及び監理技術者のもの		契約毎
7	建退協掛金収納書の提出	800万円以上の工事では契約後1ヶ月以内に提出する。		契約毎
8	工事カルテの提出	工事金額が500万円以上の場合、契約後10日以内にJACIC((財)日本建設情報総合センター)のコリズシステムへ登録し、その「工事カルテ受領書」の写しを提出する。		1回
9	下請負人通知書	下請契約がある場合は、その金額にかかわらず報告すること。 (下請の理由を明確に記入)	各写しを協議書に添付すること。(契約書・請書等、下請業者の資格証、下請現場責任者の資格証等)	必要回数
10	施工体制台帳及び施工体系図	下請契約がある場合には、全ての工事において作成し提出する。		契約毎
11	前金払請求書	請負業者において前払い金が必要な場合		1回
12	その他	発注者及び請負業者で必要なもの		必要回数

土木工事における提出書類一覧表

工事着手前提出書類

種 類		内 容		頻 度
1	工事施工計画書	詳細は別紙		契約毎
2	工事施工協議書	起工測量結果表等	工事着手後直ちに工事測量を行い、結果を監督員に提出する。	契約毎
		予想出来型展開図	設計図書を基に起工測量結果を考慮して予想出来形展開図を作成する。(発注図面の利用及び舗装面積展開図)	契約毎
		材料承認願い	コンクリート二次製品、生コンクリート、アスファルト合材、骨材、その他工事に使用する全ての材料（必要な試験結果は契約日前6月以内であること）	契約毎
		図面との不一致協議		必要回数
		周辺調査・地下埋設物調査・その他各種事前調査資料など		契約毎
3	その他	監督員の指示するもの。		必要回数

土木工事における提出書類一覧表

工事中提出書類

種 類		内 容		頻 度
1	工事施工協議書	協議事項		必要回数
		材料承認願い	変更に伴う材料 (例)使用合材及び使用骨材等の変更など。	必要回数
		予想出来型展開図	構造物の変更または舗装面積の増など。	必要回数
2	技術者等変更通知書	現場代理人、主任技術者等の変更		必要回数
3	工期延長申請書	請負者の責により工期延長する場合	変更工程表の添付(赤黒対象)	必要回数
4	監督員指示書	監督員の指定するもの		必要回数
5	工事変更施工計画書	施工延長の変更、技術者等の変更、工期変更及び下請に変更があった場合		変更毎に
6	施工体制台帳及び施工体系図	下請契約に変更が生じた場合及び追加が生じた場合は提出する。	各写しを協議書に添付すること。	契約毎
7	事故報告書	事故があった場合		必要回数
8	完成時点予想出来形展開図	平面図・縦断図・舗装展開図・雑工関係		80%出来形時
9	工事カルテの提出(変更時)	2,500円未満は不用。2,500万円以上の場合、金額変更のみの変更登録は不用。なお、登録期限は変更契約時から10日以内とする。ただし、しゅん工時登録と変更時登録の間が10日以内であれば、変更時登録を省略し、しゅん工時に登録することが出来る。	写しを協議書に添付すること	変更契約毎
10	検査記録票 (段階確認用)	監督員が指定した場合には提出すること。		必要回数
11	出来形確認申請書	請負業者において部分払いが必要な場合	業者→発注者	部分払を請求する回数は、安曇野市財務規則第137条による。
12	出来形検査結果通知書		発注者→業者	
13	部分払請求書		業者→発注者	
14	現場休業届	工期の間5日以上休む場合		必要回数
15	休日作業届	休日に作業を行う場合		必要回数
16	その他	監督員の指示するもの。		必要回数

土木工事における提出書類一覧表

工事完成時提出書類

種 類		内 容		頻 度
1	コリス登録書(しゅん工時)	2,500円未満は不用。登録期限はしゅん工日から10日以内とする。	写しを添付すること。竣工検査までに必ず提出する。技術データ登録内容の写し添付。	しゅん工時
2	しゅん工届			しゅん工時
3	請求書			しゅん工時

土木工事における提出書類一覧表

しゅん工書類

種 類		内 容		頻 度
1	目次			契約毎
2	経緯表		施工協議書の受け渡し内容、指示書などを日付順にまとめる。	契約毎
3	施工協議書	発注者側からの協議書(指示書)も含む	日付順にまとめる。	契約毎
4	実施工程表			契約毎
5	工事記録簿(工事日誌)		工期中は空白を作らず、計画・準備・書類整備等も記入すること。	契約毎
6	監督日誌			必要回数
7	検査記録表		各工種すべて	出来形管理基準による
8	使用材料集計表			契約毎
9	各種材料受払簿			契約毎
10	使用材料伝票類	使用材料全て(しゅん工書類とは別冊で提出、検査後会社保管)	検査終了年度から5年間会社管理すること。	契約毎
11	100%出来形展開図	平面図・縦断図・舗装展開図等	工事完成時の設計寸法を()により記入し、実測寸法を()の外に記入する。	契約毎
12	材料試験結果	埋戻材(発生土・碎石)密度・アスファルト(厚さ・密度)・コンクリート		品質管理基準による
13	再生資源利用実施書 再生資源利用促進実施書		計画書は当初施工計画書に写しを添付し、実施書は媒体を添えて写しを提出する。	必要回数
14	産業廃棄物処理表	A、B2、D、E表の写しを最初、中間、最終を提出すること	検査終了年度から5年間会社管理すること。	写真も一緒にまとめる
15	社内検査資料	書類検査時写真及び検査記録表など		契約毎
16	工事写真		着工前、竣工、品質管理、工種別状況、その他の順番で綴る。	契約毎
17	安全教育資料		写真や安全教育資料など	契約毎
18	交通整理員集計表	伝票を集計したものを添付する。(伝票は使用材料伝票類と一緒に綴ること)	検査終了年度から5年間会社管理すること。	契約毎
19	舗装コア	検査時に持参	検査終了年度から5年間会社管理すること。	検査毎
20	その他	監督員が指示するもの		必要回数

土木工事写真撮影(例)一覧表

区 分	工 種	写 真 管 理 項 目			備 考	
		撮影項目	撮影時期	提出頻度		
着工前・完成	着工前	全景(始点から終点に向 かって及び終点から始点 に向けて撮影)	着工前	着工前各1回		
		施工延長に応じた必要な ポイント				
	完成	着工前と同じ	完成後	完成後各1回		
土工	掘削	掘削状況	施工中			
		掘削深さ	床掘完了後			
		掘削幅				
	床均し	床均し状況	施工中			
	発生土処分	積込み状況	積込み中	処分地及び仮置場が 異なる毎に1回の撮 影とし、着工前各1 回、完成後各1回		
		過積載の確認				
		処分状況 (仮置場含む)	積卸し			
		処分場全景 (仮置場含む)	整地中			
			着工前			
			整地中			
			整地後			
	基礎工	施工状況	施工中			
		転圧状況				
		厚さ・幅	基礎工完了後			
	埋戻し	埋戻し及び投入状況	施工中			
		締固め状況				
		1層毎の厚さ・幅	1層毎の発生土埋戻 し完了後			
	コンクリート工	型枠	施工状況	施工中		
			型枠寸法	設置完了後		
		打ち込み	打設状況	施工中		
出来型		構造物寸法	完了後			
鉄筋工	鉄筋工	施工状況	施工中			
		鉄筋配置寸法	完了後			
二次製品布設	基礎工	施工状況	施工中			
		転圧状況				
		厚さ・幅	基礎工完了後			
	捨コン基礎	型枠施工状況	施工中			
		型枠寸法	設置完了後			
		打設状況	施工中			
		厚さ・幅	捨コン完了後			
	敷モルタル	施工状況	施工中			
		厚さ・幅	敷モルタル完了後			
	布設工	布設状況	施工中			
			施工後			

土木工事写真撮影(例)一覧表

区 分	工 種	写 真 管 理 項 目			備 考
		撮影項目	撮影時期	提出頻度	
その他の構造物	全ての工種	施工状況	施工中	特に埋設されるものは必要以上に写真を残すこと	
		完成状況	施工後		
舗装工	舗装切断	切断状況	施工中		
	舗装取壊し	取壊し状況	施工中		
		積込状況			
		現況舗装厚の検測			
	路盤工	施工状況	施工中		
		転圧状況			
		整正状況	整正後		
		厚さ	整正後		
		幅	整正後		
	表層工	施工状況	施工中		
		転圧状況			
		整正状況	整正後		
		厚さ	整正後		
		幅	整正後		
共通仮設	仮設工	現場事務所等の設置状況	設置後	種類毎に1回	
		仮設トイレの設置状況			
	水替工	ポンプ設置状況	施工中	1施工箇所毎に1回	
		排水状況(吐出先の状況)			
		形状寸法		ポンプ規格が異なる場合は都度1回	
	安全施設	各種標識類の設置	設置後	種類毎に1回	
		各種保安施設の設置			
		監視員・交通整理状況	作業中	配置箇所毎に1回	
		夜間の安全施設の状況	施工中		
		安全訓練の実施状況	実施中	実施毎に1回	
使用材料	使用材料	形状寸法	使用前	使用品目及び使用部材毎に1回	
		検査実施状況	検査時	検査毎に1回	
使用機械	使用機械		使用前	機械毎に1回	

土木工事写真撮影(例)一覧表

区 分	工 種	写 真 管 理 項 目			備 考
		撮影項目	撮影時期	提出頻度	
品質管理	路床・路体	現場密度の測定	試験実施中		
	路盤工	締固め密度測定	試験実施中		
		プルーフローリング測定	試験実施中		
	アスファルト舗装 (舗設現場)	温度測定	試験実施中	合材の種別毎に1回	
		密度試験			
		採取コアAs量抽出			
		粒度分析試験			
		すべり抵抗試験			
	コンクリート	スランプ試験	試験実施中	試験毎に1回	
		圧縮強度試験			
		塩化物含有量試験			
		空気量測定			
その他	補償関係	被害又は損害状況等	発生時	その都度	
			対応状況後		
	環境対策	各施設設置状況	設置後	種別毎に1回	
	事前調査	樹木、ブロック塀、家屋のクラックなど	着工前	実施箇所毎に1回	
		地下埋設物調査	調査後	実施箇所毎に1回	
	建退協	建退協への加盟写真	実施中	1回	
	施工体制	施工体制図を掲げた写真	実施中	1回	
	安全教育	実施状況	実施中	実施毎に1回	
	KY活動	実施状況	実施中	適宜	

※1 これはひとつの写真撮影例であり、工事現場ごと当該監督員と協議して決定すること。その際は、協議書を添えて協議すること。

※2 現場における黒板及びホワイトボードへ設計値及び実測値を記入すること。また、書類整備においても写真の横にある余白へ設計値及び実測値を記入すること。

※3 しゅん工書類には、区分毎及び測点毎にインデックスをつけること。

資材単価決定調書【見積り単価】

重光堰(2)地区

番号	名称	規格	単位	決定価格(数量)	備考
1	混合廃棄物処理費	(蛇籠鉄線)	kg	50	
2	廃プラ処理費	大型土のう袋等	kg	70	
3	遮水シート敷設 (ベントナイトシート)	厚6mm以上 4kg/m ² 3層構造(ニードルパンチ内部せん断補強型)	m ²	4,175	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					